

平成 29 年度若手研究者海外発表支援事業

募集要項

日本薬物動態学会では、平成 29 年度「若手研究者海外発表支援」を募集します。

1. 趣 旨

日本薬物動態学会は薬物動態学の将来を担う優れた国際的人材の育成を目指しており、国際化推進事業の一環として若手研究者の会員の海外学会における発表を支援します。

本支援事業は日本薬物動態学会の「国際対応基金」を効果的に活用し、若手研究者の会員の海外で開催される関連学会での参加・発表にかかる費用の一部を支援するものです。

薬物動態学領域の研究に意欲的に取り組んでおり、海外研究者との交流経験を生かして、日本薬物動態学会の活性化に寄与することが期待できる若手研究者の応募をお待ちしています。

2. 支援対象者

支援対象は、下記の要件を満たす薬物動態学領域の若手研究者とし、初回の海外発表者を優先します。

- I. 日本薬物動態学会の複数年度の継続会員
- II. 原則として大学院生、もしくは学位（博士）取得後 5 年以内の若手研究者
- III. 日本薬物動態学会が日本国外の学会組織と共催する、もしくは国際薬物動態学会が主催する日本国外で開催される学術集会・シンポジウム（ISSX North American meeting, European ISSX meeting, Asia Pacific ISSX meeting を含める）において口頭・ポスター発表を行うことを前提として参加する研究者
- IV. その他、上記に含まれない研究者で選考委員会が特別に認めた会員

3. 派遣期間

下記の期間に日本国外で開催される 2-III に記載の国際会議とし、派遣期間は学会開催期間を基準とし 10 日未満とする。

平成 29 年度前期： 平成 29 年 9 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日

平成 29 年度後期： 平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

4. 採用予定者数

本事業での採用予定者は平成 29 年度の前期を 2 名以内、後期を 3 名以内とし、前後期合計で 5 名以内とする。

5. 支援費用

派遣に要する旅費・日当及び宿泊料、参加費等は、上限を 25 万円として支援研究者の所属施設の定める出張経費支給基準に基づき支給する。ただし、懇親会の参加費は支給対象としない。

6. 申請手続

本事業の趣旨に賛同し応募を希望する者は、「若手研究者海外発表支援申請書（別紙様式）」

に必要事項を記入し、推薦者（日本薬物動態学会会員）の自筆署名、捺印の上、日本薬物動態学会事務局宛に送付して下さい。

申請者本人の学会発表が確定したことを証明できる書類（申請者の名前や演題が記載されたプログラム、要旨集のコピー等）を添付して下さい。ただし、申請締切までに間に合わない場合、合理的な理由と証明書類の提出可能な日を明記した理由書を添付してこれに代えることは可能です。なお、採用決定までに学会発表の証明書類の提出がない場合、選考対象外となります。

7. 申請書類提出期限

前期派遣希望者： 平成 29 年 7 月 31 日（月）（必着）

後期派遣希望者： 平成 29 年 9 月 11 日（月）（必着）

8. 書類送付先

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

株式会社毎日学術フォーラム内

日本薬物動態学会事務局 「若手研究者海外発表支援事業」担当者

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

E-mail : maf-jssx@mynavi.jp

9. 採用決定時期

前期派遣期間の採用者は選考委員会で選考し、8月下旬までに事務局から連絡します。後期派遣期間の採用者は、学会の開催時期などを考慮して、運用に支障をきたさないように決定することとします。なお、円滑な手続を進めるため、採用決定者は日本薬物動態学会事務局と緊密に連絡を取り合ってください。

10. 本事業で採用された方は、帰国後 30 日以内に、1)発表や討論を通じて、今後の自分の研究活動に有益になると感じた点、2)他の研究者による興味深い・有益な発表演題を 3 題以内を簡潔に解説、3)薬物動態学会会員に伝えたいことなどを盛り込んだ報告書（日本語で 800~1000 字程度）を日本薬物動態学会事務局へ提出して下さい。なお、報告書は日本薬物動態学会のホームページで公開する予定です。また、差支えない範囲で結構ですので、学会会場や発表風景や海外研究者との写真を撮影し、報告書と共に事務局へ提出してください。

11. 派遣者には、別途、DMPK NEWS letter へ派遣内容に関する記事の執筆を依頼する予定です。

12. 選考に当たっては、発表要旨の内容の学術的価値や派遣対象学会における本発表の意義、薬物動態学領域に対する貢献、経費見積もりの妥当性、発表種別および動態学会の会員歴、動態学会および関連学会における発表歴および受賞歴等を総合的に考慮します。できるだけ多くの若手研究者に機会を設けるため、初回の海外発表者を優先の予定です。

13. 平成 30 年度の事業については、平成 30 年の早い時期に募集予定（前期と後期に分けて合計 5 名以内の予定）です。